

大湊(下北)・青森空襲資料展の主な展示内容

今から68年前、日本は太平洋戦争を始め、1945年8月に敗戦となりました。その1ヶ月前の7月に青森県内が、米軍の空襲を受けました。空襲は、1945年7月14から15日の艦載機、7月28日のB29爆撃機、8月9から10日の艦載機の3回にわたり行なわれ、多くの被害を受けました。

1回目の艦載機攻撃では、青函連絡船が全滅し、2回目のB29爆撃機の空襲では、青森市街地の90%が焦土と化し、3回目の艦載機の攻撃では、大湊警備府をはじめ、三沢飛行場や八戸港、県内の鉄道などの軍事施設や輸送機関が攻撃を受けました。

この3回の空襲で多くの人命や財産が失われましたが、その実態は明らかになっていません。

とくに、要塞地区の下北半島や津軽半島の状況は、ボールに包まれ実態は明らかにされませんでした。

今回の空襲展は、青森空襲を記録する会が集めた、大湊の空襲と大湊湾で行われた降伏式の写真と資料を中心に、戦争の実態を伝えるとともに、空白部分を埋めるために、眠っている資料の発掘を願い開催するものです。

記

展示の内容

- (1) 大湊空襲と降伏式
 - ① 8月9・10日の大湊空襲写真
 - ② 9月7日 大湊港に停泊する日本海軍艦船写真
 - ③ 9月9日 大湊港での降伏式(米海軍揚陸指揮艦パナミント号)写真
 - ④ 9月26日 大湊に進駐した米軍写真
 - ⑤ 戦前の大湊の街写真
 - ⑥ 撃墜された米軍機と搭乗員の行方 撃沈された米潜水艦の状況
- (2) 下北空襲
 - ① 7月14日 大間町奥戸港の空襲写真
 - ② 津軽要塞と大間砲台
 - ③ 尻屋の桑畑山と寒立馬(7月14日)写真
 - ④ 尻屋灯台の殉職者 艦載機と潜水艦の攻撃
- (3) 青函連絡船全滅
 - ① 攻撃を受ける青函連絡船写真
 - ② 津軽海峡で沈められた津軽丸と漂流乗客への機銃掃射
- (4) 攻撃を受けた艦船
 - ① 米軍艦載機と潜水艦の攻撃で、被害を受けた艦船写真
 - ② 大間崎沖で沈没した第24号掃海艇と特設運送艦豊国丸写真
 - ③ 大湊湾で空襲を受けた施設艦常盤写真
- (5) 徴用された朝鮮人と浮島丸
 - ① 大間鉄道と朝鮮人労働者
 - ② 大湊警備府が徴用した朝鮮人とその行方
 - ③ 大湊港を出港した浮島丸と朝鮮人
- (6) 大湊での学徒動員と女子挺身隊、勤労報国隊の状況
- (7) 青森空襲の実態 説明と写真